



Library NEWS

～図書館だより～

令和3年度 晃陽中学校図書館



読書の秋です。クロムブック「晃陽中図書館」のクラスルームで新しい本や予約の多い本を紹介しています。本選びの参考にしてください。



全国秋の「読書週間」

<お知らせ>

10月27日から2週間、
秋の読書週間です。

**朝の読書の時間など、
本を用意しましょう。**

本の世界を楽しみましょう。

(今年度はこの期間を本校の
読書期間とします。読書強調)



多読者

9月まで 学校図書館でたくさん本を借りた生徒です



1学年

1位 211冊

1-1 S.Iさん

2位 125冊

1-1 S.Iさん

3位 105冊

1-1 S.Mさん

4位 101冊

1-2 M.Uさん

5位 91冊

1-1 A.Sさん

2学年

1位 180冊

2-2 K.Iさん

2位 153冊

2-2 M.Tさん

3位 60冊

2-1 H.Eさん

4位 51冊

2-1 A.Oさん

5位 50冊

2-1 H.Iさん

3学年

1位 160冊

3-2 A.Jさん

2位 77冊

3-1 S.Mさん

3位 69冊

3-1 K.Tさん

4位 68冊

3-1 T.Mさん

5位 60冊

3-2 A.Oさん



晃陽中学校図書館にある



おすすめの本



「朝が満ちる」 窪 美澄 著 朝日新聞出版 322p

大人になっても中学生の時の辛い悪夢を抱えて生きている。出会いがあり、誰にも話したくないような苦しくてずっと抱えていた話を、受け止めてもらえて、とても救われた。最低最悪な子供時代が、大人になってから、やっと終わり、憎しみなど、モヤモヤの霧が晴れた瞬間があった。後半の女性3人で写真を撮るあたりからラストまで、ずっと涙が止まらなかった。とても良い話だった。光が見え希望を感じられるラストだった。感動し泣ける本。



「ヒトコブラクダ層ぜっと」上下 万城目 学 著 幻冬舎 445p

梵天、梵人、梵地、特殊な能力を持つ三つ子。リムジンで表れた謎の女はライオンを連れていて、青いコートは毛皮じゃなくラピスラズリの繊維で作ってある。何者？楽しいファンタジー。不思議なタイトルの意味は下巻の最初でわかりスッキリする。メソポタミア文明に少し触れる。三つ子は個性豊かで面白い。そして銀亀三尉は素敵で魅力的。上巻ではどんな目になってしまうのか？不安だらけだったが、下巻はワクワクだった。大満足できる楽しい本。



「街どろぼう」 junaida 著 福音館書店 31p

山の上にひとりきりで住んでいる巨人。ふもとの街におりていき、一軒の家をこっそり持ち帰る。寂しい気持ちは周りに人がたくさんいてもうまらないことがわかる。自分のことをわかってくれる本当の友達が1人いれば寂しい気持ちはうまるのだと思う。自分で作った街、その王様なのに寂しいなんて、巨人は違う道を選んで正解だったと思う。読みやすくちょうどいいサイズ感。イラストが素敵。



「はたらく細胞」1～6 清水 茜 著 講談社 173P

人間1人あたりの細胞の数はおよそ60兆個。そこには細胞の数だけ仕事（ドラマ）がある。ウイルスや細菌が体内に侵入した時、アレルギー反応が起こった時、ケガをした時など、白血球と赤血球を中心とした体内細胞が健康を守るために活躍する。細胞を擬人化した漫画。とてもわかりやすく、読みやすい。自分の身体を大切にしなければと思った。医学的な知識を学べるコミック。

予約できます。